ボランティアかわらばん

2014年 10月 No.383 SINCE 1977

編集発行 ながのボランティアかわらばん編集委員会

【発行所】
〒380-0813 長野市緑町1714-5
長野市ボランティアセンター内
TEL:026-227-3707 FAX:026-224-1513
URL http://vnetnagano.or.jp
E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp

空き家って困りごと？それとも…？

大岡地区で空き家となった古民家をIターンでやってきた野田裕文さんが家族で改装して開店したレストラン「庵」。（写真は改装中のものです）

ある日、こんな相談がボランティアセンターに寄せられました。

「とっても良い空き家があるんです。隣組のみんなで有効活用を考えているけど、どこへ相談に行っていいかわからなくて・・・」

長野市役所を訪ねたところ、「社協に相談してみたら」と言われ、ボラセンに来た松澤忠幸さん（吉田在住）。

長野市の住宅街の中にある空き家。隣組のみなさんは、「地域住民で使える場にならないかな。駐車場が必要ならうちの畑を使ってもいいよ」と、主のいない中で夢を膨らませているのです。

みなさんの中にも、雑草やゴミ、動物や虫、防犯上の問題など、空き家を横目で見ながら「どうしたもんかなぁ～」「なんとかならないかなぁ～」と思っている方もいると思います。

そこで、市内の現状と「こんな風にできたらいいな」という事例も含めて、かわらばんで探ってみることにしました。

みんながネットワーク このかわらばんは信毎販売センターのご好意で一部の地域へボランティアで配布していただいています。

「ボランティアかわらばん」は共同募金のご協力で発行しています。

表紙題字：青木孝子さん

空き家を取り巻く現状を知る

松澤さんの相談を受けて、長野市建築指導課の前田伸一課長補佐を訪ね、市内の空き家の現状や市として対応できることなどをお聞きしました。

平成20年の国の調査(*)で、市内の空き家(調査の時点で住む人がいない家から賃貸用や別荘などを除いた一戸建て家屋)は約5，520戸。そのうち倒壊などのおそれがある危険家屋と言われるものが約1，280戸。残りの約4，200戸がまだ使えるかもしれない空き家です。平成16年から18年にかけて市が中山間地の空き家バンク実施に向けて実態調査をしましたが、198戸の空き家のうち活用可能で家主が貸す気持ちがある物件は2件。

日本全体で人口は減少していますが、世帯数は増加していて、それはつまり戸数が増えているということです。さらに、住宅の供給量も増加。空き家が増えるのは必然なのだそうです。

市には住民から「庭木や草が道路に出ている」「虫がわいている」などの苦情が寄せられ、それぞれの部署が可能な限り対応をしています。基本的には持主を探すのですが、個人情報保護の関係で市役所内でも情報をもらえず、なかなかたどり着けない事例も少なくないとか。そんな時は地域のみなさんの情報を頼りに持主をたどるそうです。

また、産業政策課では、企業立地促進室が設けられており、善光寺周辺などのような、民間での空き家利活用の動きを後押ししています。

国も施策として空き家の利活用促進に動きを転換しつつあり、法案提出の動きもあります。市としても今までは苦情に対応する対症療法しかしてきませんでしたが、今後は空き家活用も含めた部署を横断しての窓口の設置を検討しています。

そんな中、前田さんが感じているのは、空き家に対する心配というのは、もともと住んでいた人と地域の人たちとの関係を投影しているということ。関係が良好だと持主がいなくなった後もそれほど深刻な苦情にはならないようです。

前田さんのお話から、空き家活用への道のりは思いのほか厳しいことがわかってきました。空き家が増えるのが今の社会の宿命だとすれば、自分亡き後どうするのかを視野に入れることは大切なことのようです。

ともあれ、今ある空き家です。具体的に空き家を活用をしている人たちはどんな風に進めているのでしょうか。

古民家
自由な発想で
篠ノ井地区信里
中島法子さん

篠ノ井有旅で古民家を再生した自宅兼工房兼地域のよりどころ「気楽房」で暮らしいる中島さんに話をお聞きました。

中島さんは16年前に東京から長野へ移住しました。東京では都心に住んでいたせいか、土の上で暮らしたい、お金を稼ぐために自分の時間を削っている生活から離れたい、という想いが強くあったそうです。そのため、一人旅をしながら移住先を探しました。そうする内に、いろんな方々の縁で、今の家にたどり

気楽房の雰囲気ある佇まい。整えられた庭と調和しています

(*)住宅土地統計調査(都道府県単位抜出調査)

空き家って困りごと？ それとも…？

着いたそうです。

空き家は、大家さんが物置にしていることも多く、家具など山積みで水まわり等をきれいにして住めるようにするのは手間もお金もかかるので貸したがらないそうです。そこで、中島さんは「古いものを生かして使いたい」とそれらを全て引き受け、購入しました。

地域の方々とも積極的に関わることで苦労することなく打ち解けることができました。こんな良い佇まいの所はないと感じています。「こういう空き家や古民家をいろんな発想で自由に使いたいという若者は多い。自分たちで改修など全部やるので家賃を低く抑えて貸し出してもらえれば、学生など借りたがるのではないか」と中島さん。空き家をマイナスのイメージで捉えるのではなく、自由に自分のチカラで暮らせる空間としてプラスに捉えると、いろんな可能性が広がるように思いました。

（取材：茶嶋宏明）

お友達の家に来たような気軽さと安心感がある中村さん宅

地域のサロンに

芹田地区稲葉 中村のぶさん

長野市稲葉にある空き家を活用した認知症カフェ「いなばサロン」は、認知症の方とその家族、地域住民の誰もが気軽に集える場所として、今年の8月にオープンしました。長野市地域包括支援センター芹田が事務局となり、利用料は1回100円、毎週水曜日の10時～12時まで開いています。

取材で伺った日は17名が参加、お茶菓子を囲みながら参加者同士でおしゃべりをしたり、歌を歌ったりと皆さん楽しんでいるようでした。最初のうちは2～3名の参加だったのが口コミや回覧板での告知により徐々に人が増えています。参加者からは「家庭と同じ雰囲気でほっとできる」という声も聞こえ、空き家ならではの長所が活かされているようです。

家主の中村のぶさんは「私の孫が知的障がい者で多くの方にお世話になっており、福祉で何か恩返ししたいと思っていました。こういった形で自分も一緒になって地域のお手伝いができて光栄です。一人でも多くの方に来てほしいです」と語ってくれました。今後は定期的なイベントも開催、多くの人に来てもらう仕掛けを考えています。

サロンを開催している包括支援センターは、ここが介護予防の拠点として活用できればと考えています。

（取材：富山裕介）

地域で知恵をしぼる

みなさんのご近所に空き家はありますか？中山間地、中心市街地、新興住宅地、いずれも空き家が増えればその地域は衰退していく可能性も高く、これからの課題です。

人が住まなくなった家を地域の「資源」として捉えた松澤さんたち。それ以外にも、地域の空き家の雑草問題を住民有志がグループを作り、対応している例もあります。空き家問題を機に人と人とのつながりを見直し、空き家をうまく活用して地域のつながりを結び直すことを考えても良いのではないでしょうか。

◆参考資料◆

空き家に関する困りごとの対応窓口

★雑草や虫・動物などの苦情
→長野市環境政策課

★古くなって倒れそう・崩れそう
→長野市建築指導課

★火事などの心配→長野市消防局

★不法侵入不法投棄等犯罪の心配
→長野県警察署

★空き家の利活用について
→長野市では今後開設される予定

「温かい絆を感じた」まちの縁側講座 in 更北

9月10日、更北公民館で、延藤安弘さん（NPO法人 まちの縁側育み隊代表理事）を講師に迎え、「まちの縁側講座」が開催されました。シンポジストとして、自宅のガレージを縁側にしている丸山政義さん、自宅の土蔵を憩いの場としている田口森男さん、桜新町でサロンを開いているさくらの会の西久保ゆ紀子さん、柳原和子さん、4人の話をお聞きしました。

延藤安弘先生から、変わりゆく風景の絵本や写真を通して、「縁側」の話を聞きました。田園風景の中でゆったりと過ごした環境が、みるみるうちに池や川もなくなり、高いビルが立ち並び、子どもたちの遊び場もなくなってしまいます。

この変わり様を見て、簡単に近代化を喜べません。隣人との交わりもなく、絆はなくなっていきます。一方では、自然の中で生活したいと花を作り、畑を作り、やがて森ができてきていました。この2つの例からも、人間は関わりを求めていると思いました。

丸山さん、田口さんの縁側づくり実践の話を聞き、温かな絆を感じました。お2人とも楽しんでゆったりと運営しています。さくらの会のサロンの話からは、待ち遠しく思う仲間の姿を感じました。

無理せず、ゆったりとやっていくことで仲間を増やし、来てくれる人の気持ちに合わせて、気長にできること・好きなことを楽しむ。そんな縁側づくりをする皆さんの姿に、昔からの隣組の温かい絆を感じました。

（受講生 西村敦子さん）

最後は田口さんのギターに合わせて大合唱

からだに染み入る延藤先生の語り

サマチャレ速報！事後研修会

8月30日、サマーチャレンジボランティアの事後研修会に、参加者17名、活動先31団体が集まりました。

★活動の振り返り

研修会では、サマチャレを通じて感じたことや感想などを、自由に表現してもらいました。作文を書いたり、「喜怒哀楽」といった四文字熟語、絵や紙芝居、動物や鶴を紙で折って表現したりと、個性に溢れたものがたくさん。その後のグループ内発表では、自分の作品を手に堂々と発表して、事前研修会とはまた違う一面を見せていました。

他に「風」と書いたり、イラストの人も

★これからもボランティアを！

続いて、ボランティア活動先からのアピールタイム！「これからもボランティアに来ませんか？」という熱いメッセージが次々と。施設でお年寄りの方々とお話したり特技を披露する活動や、着ぐるみを着るボランティアなど、多種多様なボランティア活動の呼びかけがあり、参加者の皆さんも迷ったのではないでしょうか。アピールタイム終了後には、自分の興味がある活動先に直接お話しに行く参加者の姿も。

他の人の話を聞き、充実した振り返りに

この事後研修会で、サマーチャレンジボランティアは終了しました。述べ337人の参加者と活動先86団体の皆さん一人ひとりに、新しい自分の可能性との出会いがあったことと思います。この先どうするのかは自分自身！

さあ、始まりの扉が開きました！

活動先から熱烈アピール！

いつもくんが行く！

無料学習サポートきずな塾

「無料学習サポートきずな塾」に行ってきたよ。ここは月に３回17時半～19時半、小学生から高校生を対象に無料の学習会をしているんだ。経済的な理由で支援の必要な子どもたちを中心とした勉強の場を、反貧困ネット長野(*)が開いているよ。ボランティアの先生にできるだけ１対１で勉強をみてもらえるようにしているんだって。学習スペースと交流スペースがあって「勉強じゃなくておしゃべりしたいんだけど…」という人もＯＫ。勉強が終わったらおやつを食べたり、外で長なわ跳びをしたり、みんな楽しそうだったなあ。問い合わせは市外からもあるけど、長野市の子どもたちの利用が多いみたい。「勉強したい人と教える人がいればできる活動なので、いろんな地域でこういう取り組みが広がればいいな」って担当の宮崎ようこさんが話していたよ。

＊反貧困ネット長野は、長野市近隣で貧困問題に取り組み支援活動を行っています。「きずな塾」の他、月１回の「無料なんでも相談会」を実施。居場所づくり「里庵（りあん）みんなの家」の運営など。
≪事務局≫　長野市西鶴賀町1570　長野医療生協内
電話　070-6988-2771（月～金　9:00～17:00）

ゴーヤ焼きだよ！

ふれあい福祉センターにボランティアでグリーンカーテンを作りました。そこに育ったゴーヤの収穫とゴーヤ料理の会「グリーンカフェ」（＊）に参加しました。

グリーンカーテンは、５月に土づくりから始めました。ゴーヤが見事に育ち、日除けの役割をしっかり果たして、さらに採って食べられるとは、「なんてエコなんだろう」と思いました。

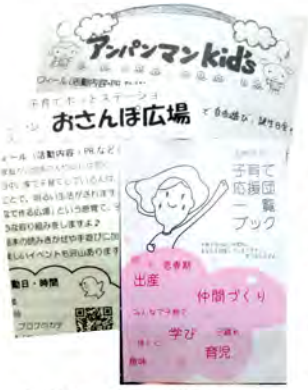
料理は、たこ焼きのたこの代わりにゴーヤを入れたゴーヤ焼き。焼き方は素人ながら次第に上手になり、おいしそうに焼けました。ゴーヤが苦手な私も恐る恐る口にしてみると、「青臭くない！　少し苦いけどおいしい」と感じました。お茶、漬物、ケーキなど、たくさんのゴーヤ料理が並び、存分に収穫祭を楽しみました。大勢の人と育て、収穫し料理することはとても楽しいと実感。小学校以来の経験です。そうした楽しさを人と共有できる時間はとても充実していてよい経験になりました。来年も土づくりから参加したいと思います。

（Ｔ・Ｔ）

＊グリーンカフェは、花や緑をきっかけに人と人が出会いつながる場。グリーンカーテンづくりやグリーンに関するワークショップを開催中。（次回詳細は６Ｐ）

咲いた！採った！食べた！

できた！ 2014年度版 子育て応援団一覧ブック



多様な子育て支援の情報を掲載しています

ながの子育てネット(*)は、昨年11月に子育てに関わるサークルや団体の交流会を開催。子育て支援したい人たちを「子育て応援団」として協力を得て、一覧ブックづくりに取り組みました。交流会を重ねながら、掲載団体を募集。広告をお願いし助成金を受けて、ようやく完成！　2,000部を無料配布しています。

子育て支援というと、乳幼児とそのママが対象という印象を受けがちですが、子育てはずっと続きますし、次世代を育成する大人の生き方にも関わります。すべての世代の人に見ていただきたい本です。この本が誰かの役に立ちますように！「みんなで子育て」の輪が広がりますように！　（ながの子育てネット代表　稲村和美）

＊ ながの子育てネットは子育て支援に関わるグループや団体のネットワーク

民館　2階実習室／定員：20人／参加費：300円
申込・問：健康な未来を考えるSowing.net（高遠）
TEL：090-2179-9741／FAX：026-227-6919

■ロビーコンサート
「生命の詩(いのちのうた)」青木進氏の作品から

コンサートのテーマは「いのち」です。作曲家青木進氏の解説を交えながら、コンサートをお届けします。
日時：10月24日(金) 18：30～／場所：八十二別館１階ロビー／参加費：無料／申込：不要
問：財団法人 八十二文化財団（傳田）
TEL：026-224-0511／FAX：026-224-6452

■公共職業訓練　みんなで介護実践科 受講生募集

介護、福祉への就職を考えている方、興味のある方、ぜひ受講ください。あなたの力を待っている人がいます。
日時：11月28日(金)～H27年2月27日(金) 9：45～16：45
場所：長野県高齢者生活協同組合研修センター
対象：介護・福祉への就職を考えている方／定員：20人
受講料：無料（テキスト代12,745円）／申込：10月24日まで(住所地のハローワークへ「入校願」を提出）／問：長野県高齢者生活協同組合(前島)／TEL：026-217-3601

かわらばん８月号の『ボラセン ホッと物語』でご紹介した、視覚障がいのＡさんが、練習した南京玉すだれを披露します！　11月８日(土)に開かれる「善光寺びんずる市」（善光寺境内で10時～16時）に仲間と一緒に登場する予定。どうぞお楽しみに♪

長野市ボランティアセンターに ご寄付ありがとうございました！

ハガキ、切手、テレフォンカード、ベルマーク等
(8月26日～9月22日分)
きもの紫の会、源氏紫の会、長野南郵便局、きのサポ、ながのコロニー、吉澤和枝、長野市環境部環境政策課、廃棄物対策課、保健所健康課（敬称略）　有効に活用させていただきます。

長野市ボランティアセンターで開催される、ちょこっとボランティアの場です。いずれも申込みは不要です。どなたでもお気軽にどうぞ♪

問：長野市ボランティアセンター　TEL：026-227-3707

夕活ボランティア大募集！

学校・仕事帰りにちょっと寄ってボランティアしませんか？ 24日はたこ焼き作りをします。
10月24日(金)　17：30～20：00／参加費：100円

グリーンカフェ

秋のおいしいものを食べながら、緑に関するお話を皆で楽しくしませんか。どなたでも参加OKです。
10月21日(火)　13：30～／参加費：100円
持ち物：軍手

ながの福ゾウくんプロジェクト

小物づくりをして、売上で被災地の小学校に本を送ります。どなたでもお気軽にご参加いただけるサロンです。
〈昼〉10月9日、23日、11月13日(木)　13：30～15：30
〈夜〉10月28日、11月25日(火)　18：30～20：30

エコ封筒を作ろう

古いカレンダーで封筒を作ります。
10月7日、11月4日(火)　10：00～12：00

長野市ボランティアセンター **現場状況８月分**　（取りまとめ期間：8月1日～8月31日）

相談件数	
ボランティアしたい	26 件
ボランティア求む	23 件
情報求む	33 件
ボランティア活動支援	52 件
ボランティア活動上の悩み	2 件
よろず相談・悩みごと	5 件
ボランティア保険・事故処理	3 件
その他	13 件
合計	157 件

問い合わせ件数	
会議室予約	330 件
伝言	271 件
情報提供	268 件
機材貸し出し	279 件
チラシ・掲示板	130 件
その他	219 件
受付（よりいい会等）	318 件
合計	1815 件

その他	
情報カード受付	56 件
機材貸し出し	60 件

ボランティア保険加入	
ボランティア活動保険	38 件
行事用保険	5 件
在宅福祉サービス総合保険	0 件
送迎サービス補償保険	0 件
合計	159 件

ボランティア情報

■第５回コロニーまつり

ながのコロニーの人達と地域の方々との交流。ステージ発表や模擬店、お仕事体験など。みなさんぜひ足を運んでください。※荒天の場合は中止
日時：10月11日(土) 9：30～15：00／場所：ながのコロニー若槻施設／参加費：無料／問：社会福祉法人ながのコロニー（宮尾）／TEL：026-296-1411

■住民支えあいマップの手法を学ぶ

住民の支えあいを、マップを使って考えます。住民同士のつながりを見える化し、地域の生活・福祉課題を掘り起し、その解決に役立つ情報も合わせて探し出します。地域づくりを考えるとても有効な手法です。
日時：10月21日（火） 10：00～16：30／場所：長野市ふれあい福祉センター／受講料：1,000円／定員：40人
講師：木原孝久さん（住民流福祉総合研究所所長）
申込：10月17日（金）まで／問：長野市ボランティアセンター／TEL：026-227-3707　FAX：026-224-1513

■製本講座　世界に一冊の本をつくろう！

あなただけの世界に一冊の本をつくりましょう。プロから学ぶハードカバーの製本講座です。
日時：10月15日(水) 19：00～21：30／場所：篠ノ井公民館　3階講義室／参加費：無料／材料費：1,200円
持ち物：筆記用具／申込：10月10日まで／問：手づくり絵本さつき会（酒井）／TEL・FAX：026-292-0801

■歌とリズムで脳をいきいきと！音楽で楽しく認知症予防

音楽療法を体験してみたい方、みなさんといっしょに音楽を楽しみたい方、認知症の予防に音楽がいいの？　どなたでも自由に参加いただけます。
日時：10月29日(水) 13：30～15：00、11月29日(土) 14:00～16：00／場所：長野市生涯学習センター　第3学習室／定員：30人／講師：10月　長野音楽療法研究会講師 11月　倉石和明さん(栗田病院院長)／参加費：1回500円
申込・問：ＮＰＯ法人 長野音楽療法研究会（室川）
TEL・FAX：026-263-7832

■お茶のみサロンゆるりの会

おしゃべりとお茶のみのサロンです。簡単な作業をすることもあります。どなたでもお気軽にどうぞ。
日時：10月22日(水) 10：30～12：00／場所：長野市ボランティアセンター テーブル／参加費：無料／問：おしゃべりボランティア野菊(小山)／TEL：026-295-6300

■フロアホッケー講習会

スペシャルオリンピックスの競技種目になっているフロアホッケーは誰でもすぐできるようになります。日頃の運動不足解消に参加してみませんか。
日時：11月8日(土) 12月6日（土）13：30～15：30
場所：長野市障害者福祉センター／講師：フロアホッケー連盟のインストラクター／対象：市内在住・在勤の中学生以上の障がい者／定員：20人(先着順) ／参加費：無料／申込・問：長野市障害者スポーツ協会（赤松）
TEL・FAX：026-266-8834

■うたうヨガ

体のストレッチ、リンパマッサージをした後、歌を歌いながらヨガやダンスをします。心の疲れ、ストレスを取り健康な体をつくろう！　誰でもお気軽にどうぞ。
日時：10月4日(土) 11月17日、24日(月) 15：00～16：00
場所：長野市ふれあい福祉センター／講師：甘利ラピナ・オレシャ／参加費：無料／申込・問：太陽(オレシャ)
TEL：080-1277-6161

■より深い国際理解のために！安くて安全な海外旅行法

海外旅行だけでなく、地元の家庭・人と交流したい。ホームステイ、ユースホステルの利用法。安くて安全な海外旅行のノウハウ教えます。英語ミニレッスンつき。
日時：10月18日・25日(土) 13：30～15：00／場所：長野市ボランティアセンター テーブル／定員：5人（申込順）／講師：中込さち子さん／参加費：500円（資料代）
申込・問：小田切国際交流クラブ（中込）
TEL：090-7173-2838

■椅子に座ってラジオ体操

椅子に座って行うラジオ体操です。ひざ・肩・腰が痛い方におススメです。
日時：11月12日、26日、12月10日(水) 14：30～16：30
場所：三陽保健福祉センター／対象：市内在住70歳以上の方　60歳以上で立って体操するのが難しい方（主治医に相談のこと）／定員：25人／講師：平出勲さん、大石美雪さん／持ち物：飲み物、タオル／受講料：300円(100円×3回) ／申込：10月27日～29日／問：かがやきひろば三陽（小宮山）／TEL：026-259-2411

■地域『そうぞう』フェスタ2014inながの

食と農をめぐる不安、仕事をめぐる不安、原発への不安など、私たちの暮らしを取り巻く様々な危機を皆で力を合わせて解決するために、地域の協同を紡ぎ広げる集会
日時：10月11日(土) 13：00～17：00／場所：松本勤労者福祉センター大会議室／定員：500人／参加費：500円（資料代）／問：労協ながの　東北信事業本部（松林）
TEL:026-219-1190 ／FAX:026-219-1196

■なぜ健康と環境が同じ？

色々な病気は環境汚染が原因？　そんな疑問をいっしょに考えてみましょう。お茶をまじえて皆様の参加をお待ちしております。
日時：10月11日(土) 13：30～15：30／場所：安茂里公

ボランティアかわらばん
2014年
10月号

ボランティア情報

11月号は10月31日(金)発行予定。情報掲載希望は10月17日(金)までにお問合せください。〈TEL：026-227-3707〉

第33回 ふれあいまつり

「ふれあいまつり」は国際障害者年を契機にして、障がいのある人もない人も「ごく普通の仲間としてふれあうまつり」として生まれ、障がい者団体やボランティアグループ等様々な市民団体、各々が企画を持ち寄って作り上げる手作りのおまつりです。

子どもから大人まで楽しめる企画がもりだくさん!
- 被災者支援ブース
- パン食い競争
- キックターゲットコーナー
- わらしべ長者大会
- ボランティアグループ・団体による出店コーナー
- 車イス・アイマスクなどの体験コーナー
- クラフト・エコグッズコーナー
- ふれあいステージ　他にもいろいろあります。

※日程・内容については場合により変更することがありますのでご了承ください。

抽選券はパスポートについてます!

スペシャルビッグ抽選会

毎年大興奮の豪華賞品が待っています

特別賞　「長野えびす講煙火大会」観覧席
ふれあい賞　復興支援・秋の被災地味覚セット
1等賞　任天堂　Wii-U　他多数用意しています。

パスポートは当日お求めいただくか長野市社会福祉協議会までお問い合せください。

パスポート　1冊200円

ボランティアグループ等による多彩な出店やバザー

とき
平成26年10月13日(月)
建国式　9:30～
開　国 10:00～15:00

ところ
若里公園
(ホクト文化ホール前広場)
会場に駐車場はありません。
長野駅東口および若里多目的広場駐車場(旧カネボウ跡地)からのシャトルバスをご利用ください。

≪問合せ≫ 長野市社会福祉協議会 長野市ボランティアセンター
TEL：026-227-3707　FAX：026-224-1513

募集

■長野県心理リハビリテイションの会 全国大会(長野大会)のボランティア募集

臨床動作法で学ぶ方、その保護者、指導者が一堂に会し、研究大会を開催します。その大会の受付・案内・障がいのある方の支援をするボランティアを募集します。
日時：12月6日(土)、7日(日)／場所：ホテルメトロポリタン長野／問：長野県心理リハビリテイションの会(宮下)／TEL：026-296-8393／FAX：026-251-3177
HP：http://www.kennetsys.info/11/index.html

■ボランティアのつどい実行委員募集

来年3月1日開催予定の「ボランティアのつどい」に向けて、企画・運営を行う実行委員を募集しています。一緒に「ボランティアのつどい」を成功させましょう。
申込締切：10月17日(金)／対象：ボランティア活動を行っている人、関心がある人／問：長野市ボランティアセンター／TEL：026-227-3707／FAX：026-224-1513

イベント・講座

■2014 絆フェスタ

病気や障がいがあっても自分らしく人生を送っている当事者の方、支える家族の方によるバザー、作品展、販売、発表他。ゴスペルやマジックショーもお楽しみに。
日時：11月15日(土) 10:00～15:30／場所：長野市障害者福祉センター／参加費：無料 ／問：2014絆フェスタ実行委員会（大池）／TEL：026-226-6045